39 01 04 02 01 004

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月26日（火）

事務事業	ごみ減量・資源リサイクル事業	担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	3909
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	深谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 リサイクル活動推進奨励金交付要綱				
中項目	200003 人と自然にやさしいまちづくり						
小項目	200002 環境衛生の推進						

事業概要	ごみの減量化とリサイクル活動の推進を行う 奨励金については、日常生活から排出される資源ごみを自主的に回収する団体に対し交付する。（平成２２年度まで：１ｋｇ当たり６円　　平成２３年度から：１ｋｇ当たり３円）
目的 ※何のために	資源物の再利用の促進、廃棄物の減量化を図る
対象 ※誰・何を対象に	日常生活から排出される資源ごみを集団回収する登録団体
手段 ※どのように	奨励金の交付
成果 ※何を求めるか	自主的な資源回収活動の定着促進とこれに伴う家庭から排出されるごみの縮減
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　■ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	04	衛生費	02	清掃費	01	清掃総務費	ごみ減量・資源リサイクル事業	8,520,509
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ リサイクル活動推進奨励金交付	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	13,202,000	12,306,000	12,286,000	11,394,000	9,286,000	
	決算額	10,481,771	9,679,348	8,520,509	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	10,481,771	9,679,348	8,520,509	11,394,000	9,286,000	
人件費	従事職員数（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	人件費相当試算※１	3,889,500	3,891,000	3,930,500	4,074,000	4,074,000	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		14,371,271	13,570,348	12,451,009	15,468,000	13,360,000	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	リサイクル奨励金交付団体数	目標値	件	365.00	370.00	375.00	380.00	385.00	390.00	□
			実績値		367.00	376.00	357.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２９年度を基に毎年５団体増える目標とした。							
		決算における交付団体数									
■	成果指標１	リサイクル奨励金交付額	目標値	千円	12,501.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	□
			実績値		10,241.77	9,679.35	8,517.37	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成３０年度予算における見込金額を目標とした。							
		決算における奨励金の交付額									
■	成果指標２	廃棄物のリサイクル率	目標値	%	7.00	16.90	17.00	17.10	17.20	17.30	□
			実績値		16.80	16.00	15.84	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		一般廃棄物処理基本計画に伸率を算出し有害・有価物，集団回収合計に乗じ目標とした。							
		リサイクル率＝資源物小計＋深谷									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 新型コロナウイルスの影響もあり、リサイクル奨励金交付団体の活動数は減少し目標値には届かなかったが、その状況下においても再資源利用の推進が図られた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 新型コロナウイルスの影響もあり、リサイクル奨励金交付団体の活動は減少傾向となったが、奨励金を８割近く交付できていることから、概ね活動の成果は上がっている。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	係長　石川　秀敏

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	新聞や雑誌の発行部数の減少により、資源回収される紙類は減少しているが、紙資源のリサイクルを徹底するため、引き続き、「ごみの分け方・出し方」に「雑紙」、「リサイクル」、「地域の集団回収」について掲載する。また、リサイクル活動奨励金制度を広報、ＨＰ等でＰＲし、新規登録団体を募集する。
達成状況 及び その効果	ごみの分け方・出し方に「雑紙」、「リサイクル」、「地域の集団回収」について掲載した。また、リサイクル活動奨励金制度を広報でＰＲし、新規登録団体の募集を行った。 このほか、「市長と保護者の意見交換会」において、「雑紙」の分別について周知を行った。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ごみ減量・資源リサイクル事業	担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	3909

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

資源ごみをリサイクル活動により再資源化を推進するために必要な事業である。登録団体は昨年と同数であるが、活動団体は減少しており、回収実績も減少傾向にある。背景にはスマートホンの普及により新聞、雑誌などの紙類の減少による資源物の不足によることも考えられるが、今後もリサイクル活動団体を増やし、集団回収を推奨するすることが重要である。

評価者	課長　富田　勝

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

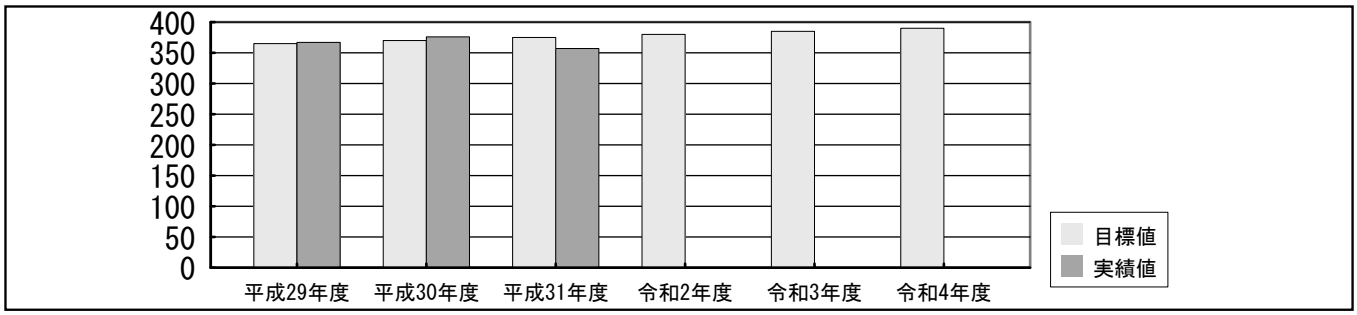
改善・改革案	毎年度発行しているごみの分け方出し方において、リサイクルの必要性を掲載し、地域の集団回収の推進を情報発信を実施する。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

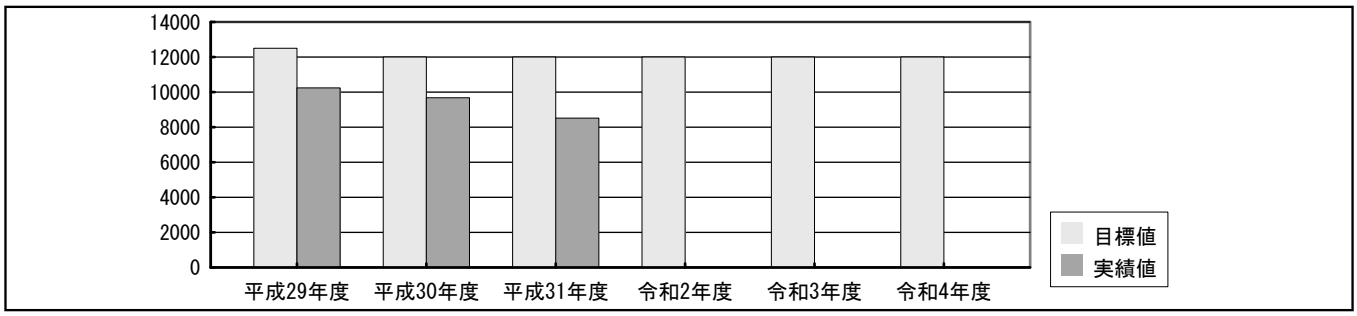
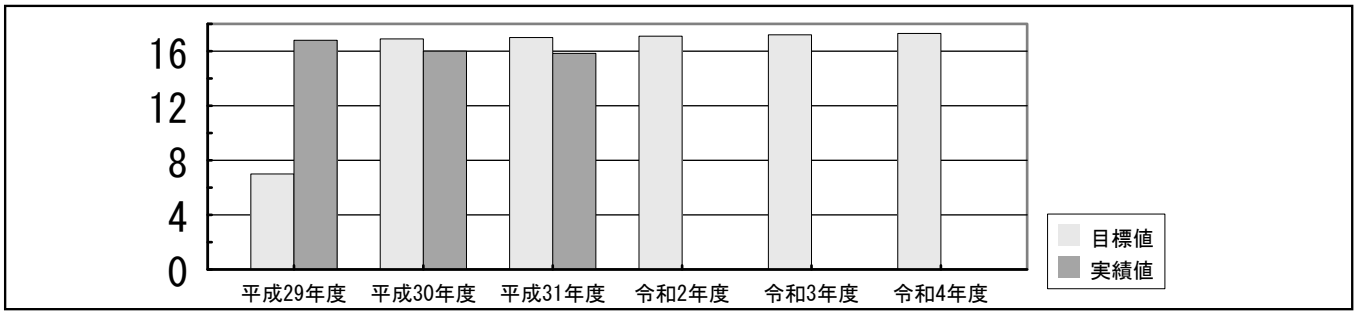
今後の課題	特になし

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	リサイクル奨励金交付団体数



区分	成果指標１	指標名	リサイクル奨励金交付額



区分	成果指標２	指標名	廃棄物のリサイクル率